



杉並区

一味違った雰囲気フラダンス

27.7.14  
杉並区広報課

## 男性フラダンスグループがデビュー！！

14日（火曜）、セシオン杉並（梅里1丁目22番32号）で、男性のみで構成されるフラダンスグループ「男性会長フラグループ」の発表が行われました。男性が行うフラダンスは珍しく、多くの観客の心をつかみ、会場を沸かせました。

年をとっても、仲間と趣味を楽しみながら過ごしたいものですね。「いきいきクラブ」は、高齢者の老後の生活を充実させ、いきいきとしたものにしようと、おおむね60歳以上の区民の方々が、地域の人々と囲碁やダンス、スポーツなどさまざまな活動を通じて交流をしています。現在、区内には68のクラブがあり約5,600人の会員が活動しています（平成27年5月19日現在）。しかし、男性のクラブへの参加率は25.5%と少なくなっています。

方南こぶしの会の稲葉和子会長も、自身の住んでいる地域で、高齢者が増えているのに対し、男性のいきいきクラブへの参加が少ないという現状に危機感を感じていました。

そこで、男性の参加を呼び込もうと、今年の2月に発足させたのが男性によるフラダンスグループ「男性会長フラグループ」です。稲葉さんが声をかけたところ、8人の男性が賛同し、現在、69歳～86歳のメンバーで月に3回程度練習をしています。



本日、いきいきクラブの活動を発表する福祉大会（和泉・下高地区）がセシオン杉並で行われ、「男性会長フラグループ」が日頃の練習の成果を披露しました（今回の発表会では、女性も2名踊りました）。今回が初舞台。メンバーが舞台上に登場すると、会場に来ていた約200人のお客さんから、大きな拍手が沸き起こりました。フラダンスは、高齢者によるものとは思えない軽やかな踊りで、会場を沸かせました。ダンスが終わると再び大きな拍手が沸き起こり、この日一番の盛り上がりを見せました。

このグループに参加している最年長で86歳の浮谷隆幸さんは、「フラダンスを始めてから体がものすごく軽くなって、歩ける距離が延びた。」と仲間とフラダンスをすることでより健康的になったことを楽しげに話っていました。

【報道機関問い合わせ先】

総務部広報課 電話：03-3312-2111